

第18回みやぎ児童・生徒「木工工作」コンクール本審査出展作品一覧

令和7年10月9日

低学年（1～2年生）の部〔出展：12作品〕

県知事賞



学 校 名 気仙沼市立松岩小学校 1年生
名 前 佐藤 大誠 (さとう だいせい)
作 品 名 セカイオーブクワガタ
作品の説明 足の先を本物のようになるようにした。細いので折れそうになったけど、気をつけてくっつけました。

宮城県教育長



学 校 名 仙台市立袋原小学校 2年生
名 前 高宮 大暉 (たかみや ひろき)
作 品 名 いのちをかけたにらめっこ
作品の説明 すのたまごをねらってきたティラノサウルスと、それをまもるトリケラトプスのおとうさんを作りました。 本もののきょうりゅうに近づけたかったので、まっぼっくりをつかって、かわやつめをつくりました。木やくさもいっしょにつくって、森のようすをあらわしました。きょうりゅうたちと同じ目のたかさで見ると、白あ紀の森のふんいきがよくわかると思います。

宮城県教育長



学 校 名
石巻市立蛇田小学校 2年生

名 前
相沢 香凜 (あいざわ かりん)

作 品 名
石巻の地引網と海の生き物

作品の説明
「石巻の地引網の楽しさ」・「海の生き物とふれあえる楽しさ」そして、「体験を木工工作で表現する楽しさ」が伝わるように心をこめていっしょけんめい工夫しながら作りました。

宮城県木材同友会会長賞



学 校 名
気仙沼市立松岩小学校 1年生

名 前
遠藤 凧 (えんどう なぎ)

作 品 名
木のまち

作品の説明
家の屋根の部分の木を三角にみえるようにつなぎあわせたところ。

宮城木材文化ホール運営委員長賞



学 校 名
仙台市立七郷小学校 2年生

名 前
永井 千萩 (ながい ちはぎ)

作 品 名
森のブランコ

作品の説明
たこ糸で木の枝をつなげてブランコを作りました。女の子のコートを貝がらで作りました。どんぐりや貝がらで、小鳥の羽や口ばし、ねずみの耳を作りました。葉っぱや木の枝をたくさん貼って、森の中で遊んでいるところを作りました。

宮城県木材協同組合理事長賞



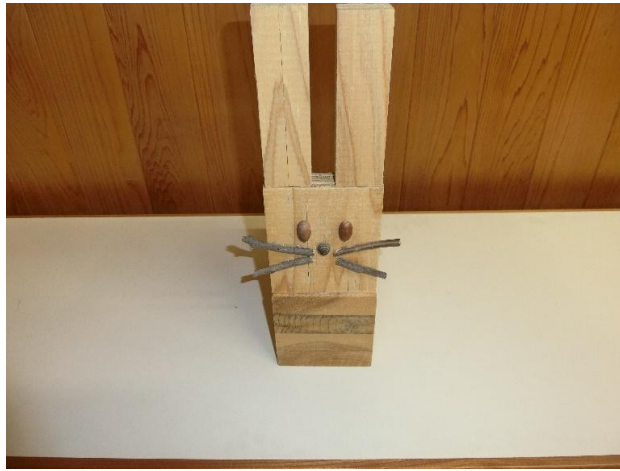
学 校 名 加美町立宮崎小学校 2年生
名 前 高嶋 桜暖 (たかしま ゆのん)
作 品 名 ひつじがのぞいている家
作品の説明 ひつじがかわいくのぞいているようにしたところ



学 校 名 大河原町立金ヶ瀬小学校 1年生
名 前 横山 凱瑛 (よこやま かいえい)
作 品 名 家族のお家
作品の説明 屋根が取れるようにし、自分の好きなおもちゃを入れて自由に遊べるようにしました。



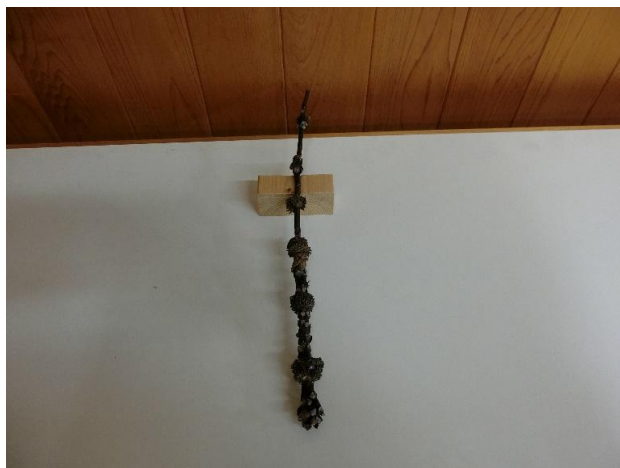
学 校 名 大河原町立金ヶ瀬小学校 1年生
名 前 鈴木 利徠 (すずき りく)
作 品 名 宇宙へ飛び立て☆
作品の説明 点が入りやすいように、クギの位置を工夫しました。



学 校 名 大崎市立敷玉小学校 2年生
名 前 八島 那奈 (やしま なな)
作 品 名 木のうさぎちゃん
作品の説明 うさぎちゃんのかおを、ずれないように、ていねいにボンドをつけました。うさぎちゃんのしっぽをつけたいところにつけれるようにくふうしました。



学 校 名 栗原市立鶯沢小学校 1年生
名 前 千葉 太陽 (ちば たいよう)
作 品 名 とりのやま
作品の説明 鳥の巣に見えるように、落ち葉を丸くなるようにしました。大切な卵を守る巣なので、一番力を入れて作りました。



学 校 名 栗原市立栗駒小学校 2年生
名 前 菅原 瑛太 (すがわら えいた)
作 品 名 ハリーポッター ニワトコの杖
作品の説明 色々な色や形の松ぼっくりを使い、杖の模様を表現しました。根元の部分はほうき状になるように、曲がっている松ぼっくりをたくさん使いました。膨らみの部分には、どんぐりの帽子を組み合わせ、穴を空けて木の枝に通しました。杖の感じを出すために、木の枝の表面を焼いて黒くしました。



学 校 名 石巻市立貞山小学校 1年生
名 前 神野 美愛莉 (かみの みおり)
作 品 名 ちょうちよの時計
作品の説明 文字盤を拾った木でアレンジして工夫しました。

県知事賞



学 校 名 柴田町立西住小学校 3年生
名 前 高野 瑠大 (たかの ようた)
作 品 名 ドスコーム
作品の説明 竹ひごに丸みを持たせるためにお湯で丸みをつけました。 ダンゴムシの中に卵をとじこめました。 たまごひとつひとつに顔をかきました。 自分で拾った松ぼっくり松の実を使いました。 かんなくずを作って苔をつけて森をイメージしました。

宮城県教育長賞



学 校 名 登米市立東和小学校 3年生
名 前 下山 陽葵 (しもやま ひまり)
作 品 名 ねこちゃんの家
作品の説明 大きいいたをのこぎりで同じ長さに切るのはとてもむずかしかったです。くみあわせるとずれてしまったけど、すこしけずったりしてがんばりました。ねこちゃんが入るところはねこの形にしたり、上をすのこにしてねこちゃんがいろいろつかえるようにくふうしたところです。コルクでつくったねこちゃんの足あとはあるいているように作りました。うちのねこちゃんによるこんでつかってくれたらうれしいです。

宮城県教育長賞



学 校 名 仙台市立福岡小学校 3年生
名 前 武田 類優 (たけだ るう)
作 品 名 おいでよ、たのしいツリーハウスに
作品の説明 どうぶつたちは木がすきだから、ツリーハウスを作ったら遊びに来るかな、と思いました。1ばん下がリスさんのお家、まん中がネズミさんのお家、てっぺんがとりのお家です。あさひもでブランコを作る時にむすぶところがむずかしかったです。グルーガンははじめてでしたがとても気をつけてつかいました。アピールポイント①とりのブランコ②つみ上がっているまき③あさひもでむすんだ木のブランコ

宮城木材文化ホール運営委員長賞



学 校 名
気仙沼市立津谷小学校 3年生

名 前
菅原 莉葵翔 (すがわら りおと)

作 品 名
森と海と木の夢のお家

作品の説明

材料集めで行った森と海では、海にも沢山の木材があることを知り、海と森がつながっていることを学び、作品に取り入れたいと思いました。材料には、海で集めた流木やシーグラス、森で集めた木材、木の実を合わせながら、自分の夢のお家を作りました。工夫した点は、屋根は、小枝や流木を一つ一つ合わせて作ったことや、屋根に登れる階段、ブランコも家の中に作り、家の中にある木の小人さんが喜ぶように、みんなで楽しく暮らせるように考え作ったところです。ぼくが、森の小人になれたら、「ここお家に住みたいな」と思う、理想のお家です。

宮城県木材協同組合理事長賞



学 校 名
仙台市立錦ヶ丘小学校 4年生

名 前
山尾 桃加 (やまお ももか)

作 品 名
森の小さな舞踏会

作品の説明

1.裏側にも工夫しました。2.舞踏会なので動物達が飾り付けをしたように沢山の葉や花を貼り付けた所を工夫しました。メスの3匹の動物はかんなくずや植物で作った違ったドレスを着ています。3.音楽隊もそれぞれ違った楽器を持っています。(フルート、バイオリン、サクソ、太鼓、ピアノ、指揮者)グランドピアノは鍵盤も一つ一つ作りしました。くもの巣や鳥の巣など細かいところも工夫したので見てください。

宮城県木材同友会会長賞



学 校 名
栗原市立栗駒小学校 3年生

名 前
佐藤 光 (さとう ひかる)

作 品 名
竹スライダー

作品の説明

ビー玉が良く転がるように竹の角度を工夫した。木の風車が回るように工夫した。



学 校 名 大河原町立金ヶ瀬小学校 4年生
名 前 菅原 輝一 (すがわら きいち)
作 品 名 との (愛犬) のえさ台
作品の説明 えさの器が落ちないように縁に高さを出しました。



学 校 名 大崎市立鳴子小中学校 3年生
名 前 塚田 莉乃 (つかだ りの)
作 品 名 見るだけで住みたくなる私の家
作品の説明 庭の石とおもちゃです。テレビも工夫しました。屋根と二階の床も外せて模様替え出来るようにしました。ベッドも厚さを変えました。



学 校 名 大崎市立鳴子小中学校 4年生
名 前 湯山 花鈴 (ゆやま かりん)
作 品 名 ワインスタンド
作品の説明 二十歳の兄の誕生日プレゼントにしたいと、ワインスタンドを作成しました。 鳴子こけし工人の岡崎やすおさんの工房で、こけしを作る過程で沢山できる廃材をいただき、再利用しました。多くの廃材はストーブの薪に使う他は、使い道がないとお話しされていました。こけしはみずきや樺、桜などが主に使われ、何年も自然乾燥してこけしの寸法に切り出されます。木工ダボで強度を出したかったのですが、しっかり乾燥されていて、ドリルが入らないほど固かったので、枕木と原木の部分だけダボとボンドで補強し、その他はやむを得ず木工ボンドを使用しました。両脇にはこけしの胴体を作る過程でできた円柱を、ろくろにはめた跡が見えるように並べました。綺麗に削っても節があり、使えない胴体部分も木工作品では美しく、枕木として利用し、取り外せるようにしました。取り外した枕木は、ナイフなどのカトラリーを立てられるようにしました。底材の杉板は少し長さを取り、コルク抜きを置くスペースを作りました。収納時に取り外しできる枕木が動かないよう、裏の2箇所にもストッパーをつけました。表面や角は怪我をしない程度に紙やすりをかけました。



学 校 名 栗原市立築館小学校 4年生
名 前 阿部 真子 (あべ まこ)
作 品 名 風車
作品の説明 旅行に行ったときに見た風車をイメージして 作りしました。がんばったところは風車のはねで す。一つ一つ長さをはかって木を切りました。 同じ長さに切るのが大変でした。1枚1枚木を 貼って作りしました。木の実で作った花だんもあり ます。



学 校 名 石巻市立大谷地小学校 3年生
名 前 高橋 彩華 (たかはし あやか)
作 品 名 キーホルダースタンド
作品の説明 ・家の形にして、中にもキーホルダーをしま えるようにしました。 ・やすりで、出来るだけなめらかにしました。 ・かわいい作品にしたかったので、花の形に見 える綿花を貼りました。



学 校 名 石巻市立大谷地小学校 4年生
名 前 佐藤 宗馬 (さとう そうま)
作 品 名 マイチェア
作品の説明 足をのせられる所を作った事です。足をのせ ると足がつかれなくてとても楽です。



学 校 名

気仙沼市立松岩小学校 3年生

名 前

日野 由菜 (ひの ゆうな)

作 品 名

こびとさんの家

作品の説明

こびとさんが住んでいそうなふんいきにしたのが工夫です。

県知事賞



学 校 名

大河原町立金ヶ瀬小学校 5年生

名 前

坂元 樹優 （さかもと じゅま）

作 品 名

蘇ったティラノサウルス

作品の説明

今回の作品では、ただ恐竜の姿を形にするのではなく、ティラノサウルスが大地に立っていた時代の「迫力」と「存在感」を表現することを目指しました。土台はハリガネで骨格のように組み上げ、強靱な体を支える基盤としました。目は黄色のレジンでリアルさを求めて作りました。さらに木の皮を細かく砕き、一片一片をグルーガンで丁寧に貼り重ねることで、荒々しくゴツゴツとした質感を生み出しました。こうした素材の工夫と時間をかけた積み重ねによって、ただの模型ではなく「生命の息吹を感じる作品」に近づけるよう心を込めて制作しました。土台の辺の長さは30cmで規定内になります。

本作品は実質2日間で制作しましたが、その背景には昨年のコンクール後から積み重ねてきた構想と工夫のアイデアがあります。限られた時間の中でも妥協せず、ハリガネで土台を組み、木の皮を砕いて片ずつ丁寧に貼り付けることで、ティラノサウルスの荒々しい質感を表現しました。長い時間をかけて思い描いたイメージを、短期間で形にするために全力を注ぎ込み、「生命の迫力を感じられる作品」となるよう工夫を凝らしました。

宮城県教育長賞



学 校 名

仙台市立鶴谷東小学校 6年生

名 前

堀籠 陽久 （ほりごめ はるひさ）

作 品 名

ぼくの小学校

作品の説明

夏休みに担任の先生にお願いして学校の高さを教えてもらおうと思いましたが、正確な高さが載っている書類がすぐには見つからず、算数の教科書に載っている「拡大図と縮図」を使って学校の正確な高さを測りました。学校の高さや幅、柱の数を数えて、再現してみました。いろいろな太さの木材を組み合わせて、柱や窓の部分を作りました。校舎に一番近い遊具のうんていを作ったり、木材を屋上のかたちで切るのが難しかったです。時計も工夫したポイントの一つで、ぼくの好きな時間の3時にしてみました。卒業までの残り約半年間、感謝の気持ちを持ちながら、楽しく通いたいと思います。

宮城県教育長賞



学 校 名

大崎市立鳴子小学校 6年生

名 前

菊地 勝太 （きくち かつた）

作 品 名

森のジュース入れ

作品の説明

ボンドだけだと、とれてきそうだったので、テープで編み、強くしました。取っ手が欲しくて、ずっと探していて、見つけ、くせをつけて、すごく良いカーブにできました。

宮城県木材協同組合理事長



学 校 名
石巻市立貞山小学校 6年生

名 前
安齋 京香 (あんさい きょうか)

作 品 名
森の動物たちの家

作品の説明
家の中を作ったり，家の壁を1本1本切ってやすりをしたり，屋根の瓦の部分丸くするのやアジサイの花を1枚1枚切って貼り，秋の森をイメージしたり，工夫しました。

宮城県木材同友会会長賞



学 校 名
仙台市立古城小学校 5年生

名 前
森角 結心 (もりずみ ゆい)

作 品 名
旅する魚

作品の説明
木の曲がりを利用して、立体感を出しました。
アピールポイント①流木の形を組み合わせて波をイメージしました。
アピールポイント②ひもぶら下げる事で、魚が泳いでいるようにユラユラします。
アピールポイント③パパといっしょにインパクトを使い、ビスを目立たないようにうちました。

宮城木材文化ホール運営委員長賞

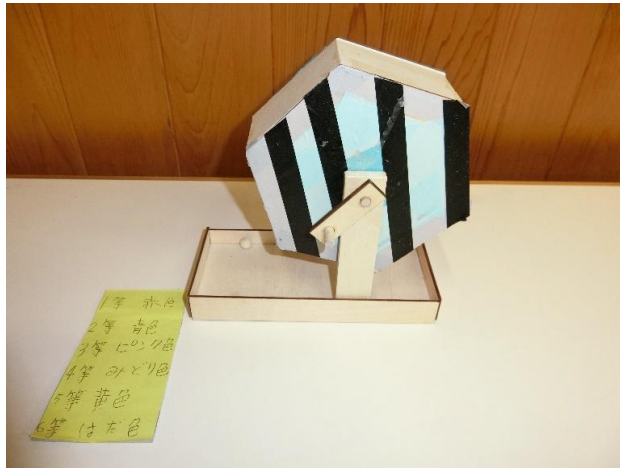


学 校 名
柴田町立西住小学校 6年生

名 前
高野 暖大 (たかの ひなた)

作 品 名
BIG DREAM

作品の説明
船底の輪切りの型を作って、細い木を少しずつ曲げながら貼り付けて船底の流線型を表現しました。プロペラは木を小さく切って角度をつけて作りしました。煙突に角度をつけて付けました。



学 校 名 加美町立宮崎小学校 5年生
名 前 川田 大智 (かわた たいち)
作 品 名 ガラポン
作品の説明 スムーズに回転するように工夫した。



学 校 名 栗原市立栗駒小学校 6年生
名 前 小野寺 奏権 (おのでら そうか)
作 品 名 庭園
作品の説明 ししおどしを作って見ました。



学 校 名 栗原市立栗駒小学校 6年生
名 前 坂田 裕馬 (さかた ゆうま)
作 品 名 牧場のヒツジ
作品の説明 牧場の柵を、木の枝で重ねたところ。 水飲み場の、くぬぎの身を並べたところ。



学 校 名 石巻市立大谷地小学校 6年生
名 前 佐々木 玄翔 (ささき くろうと)
作 品 名 ガレージ
作品の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・ビスを見えないようにした。(色を塗って) ・色をきれいに塗った。 ・切断部分の角を紙ヤスリで滑らかに削る。 ・内部を明るくする為に明かり取り天窓を設置した。 ・蝶番を付けて扉の下端がこすらず、すきまがあきすぎない様に出来るだけいねいに作った。



学 校 名 気仙沼市立松岩小学校 5年生
名 前 高橋 一熙 (たかはし いつき)
作 品 名 どんぐりキャンプ場
作品の説明 小さい木の皮を貼って、森の中の雰囲気を出したところ。



学 校 名 気仙沼市立松岩小学校 5年生
名 前 千葉 斗碧 (ちば とあ)
作 品 名 SDGS シューズラック
作品の説明 おじいちゃんが木で作ったかんばんたてを再利用してシューズラックを作りました。木をむだにしないで、思い出も残せた作品です。 工夫したところは、ボールも置けるようにしたところ。

特別支援学校の部〔出展：2作品〕

宮城木材文化ホール運営委員長賞



学 校 名 放課後等デイサービスPlus+days仙台富沢校 4年生
名 前 伊藤 駿 (いとう しゅん)
作 品 名 いざ、進め！
作品の説明 コルクで乗組員をつくったところ。 特に船長は、帽子や羽をつけて目立つようにした。

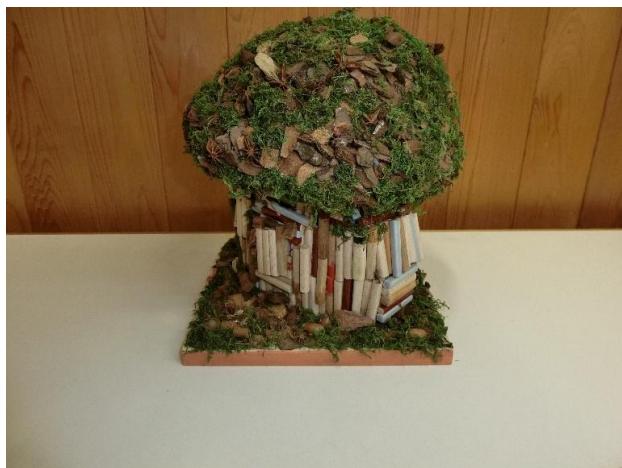
宮城県木材同友会会長賞



学 校 名 放課後等デイサービスPlus+days仙台富沢校 2年生
名 前 大友 純伶 (おおとも すみれ)
作 品 名 ホームパーティーの後は、外で遊ぼう！
作品の説明 ソファのまわりにきのこの飾りをつけて、 外にある様子を表したところ。

中学生の部〔出展：2作品〕

宮城県木材同友会会長賞



学 校 名	仙台市立北仙台中学校 1年生
名 前	野澤 あいら (のざわ あいら)
作 品 名	樹の子
作品の説明	本来、樹に生えるキノコを木材で表現しました。キノコの傘部分はココナッツ材を使用し、柄の部分は木の棒を使用しました。苔を使い、より樹らしく仕上げました。

宮城木材文化ホール運営委員長賞



学 校 名	仙台市立北仙台中学校 1年生
名 前	濱 陽乃 (はま はるの)
作 品 名	うさぎの秘密基地
作品の説明	鳥やうさぎをいろいろなパーツを使って細かく作りました。お菓子や本などうさぎの宝物がたくさんあります。うさぎのいるところは地下、鳥のいるところが地上のイメージです。